



2025年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 大幸薬品株式会社

コード番号 4574 URL <https://www.seirogan.co.jp>

代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）柴田 高

問合せ先責任者 （役職名）コーポレート本部 経理部長 （氏名）中條 亨 MAIL ir@seirogan.co.jp

半期報告書提出予定日 2025年8月8日 配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年1月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年12月期中間期	2,412	△15.7	46	△90.3	20	△96.1	279	△63.4
2024年12月期中間期	2,860	14.9	482	—	528	—	764	—

（注）包括利益 2025年12月期中間期 △32百万円（－％） 2024年12月期中間期 1,257百万円（－％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期中間期	5.57	—
2024年12月期中間期	15.24	—

（注）1. 2024年12月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 2025年12月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年12月期中間期	11,680	7,948	68.1
2024年12月期	12,914	7,964	61.7

（参考）自己資本 2025年12月期中間期 7,948百万円 2024年12月期 7,964百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年12月期	—	0.00			
2025年12月期（予想）			—	—	—

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2025年12月期の配当予想につきましては、現時点では「未定」といたします。

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
	6,300	0.1	215	△65.9	200	△70.9	300	△66.6	5.98

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規 一社 （社名）一、除外 1社 （社名）大幸薬品インターナショナル株式会社

（注）詳細は、添付資料P. 10「2. 中間連結財務諸表及び主な注記（4）中間連結財務諸表に関する注記事項（連結範囲の重要な変更）」をご覧ください。

（2）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期中間期	50,636,900株	2024年12月期	50,636,900株
② 期末自己株式数	2025年12月期中間期	385,713株	2024年12月期	443,189株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年12月期中間期	50,222,449株	2024年12月期中間期	50,171,896株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はT D n e t で開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(表示方法の変更)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(連結範囲の重要な変更)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や訪日外国人旅行者数の増加等により、国内景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、ウクライナ・中東情勢等の地政学的リスクや米国の通商政策動向、継続的な物価の上昇による消費の減速懸念等、依然として景気の見通しは不透明な状況が続いております。

このような中、当社グループは医薬品事業において、市場への安定供給という課題に対し、供給体制を強化するため、製造人員の増強、2024年8月9日に公表した生産体制の再編に向けた準備等に取り組んでまいりました。また、感染管理事業では二酸化塩素のエビデンス強化に係る研究開発を通じた消費者の皆様への信頼醸成や、売上規模に応じたコストコントロール等収益性の改善施策に取り組んでまいりました。

これらの結果、当中間連結会計期間の売上高につきましては、医薬品事業の減収により、対前年同期比15.7%減の2,412百万円となりました。売上総利益につきましては、医薬品事業の減収影響等により、対前年同期比21.3%減の1,320百万円となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、感染管理事業における広告宣伝費の増加等により、対前年同期比6.5%増の1,273百万円となりました。

これらの結果、当中間連結会計期間の営業利益は対前年同期比90.3%減の46百万円、経常利益は対前年同期比96.1%減の20百万円となりました。特別利益につきましては、投資有価証券売却益347百万円や医薬品事業の仕入取引や製品出荷業務に関連し取引先より受領した受取補償金14百万円を計上しております。その結果、親会社株主に帰属する中間純利益につきましては、対前年同期比63.4%減の279百万円となりました。

セグメント別の経営成績につきましては以下のとおりであります。

(医薬品事業)

医薬品事業につきましては、国内市場における市場規模が対前年同期比で109.2%となりました。堅調な需要に対し、「正露丸」につきましては、中期的な供給体制強化に向けた取り組みの一環として製造設備の更新等の準備を進めてまいりました。また、京都工場の医薬品ラインが本格的に稼働したこと等により安定供給が可能な「セイロガン糖衣A」及び「正露丸クイックC」につきましては、営業・マーケティング施策の強化をおこなうとともに、2025年4月から6月には「セイロガン糖衣A携帯用」の新発売に合わせてWEBプロモーションを実施する等、新規ユーザーの拡大に取り組みました。しかしながら、「正露丸」の供給課題は依然解消に至らず、特に海外向けは十分な供給ができない状況が続いてまいりました。

この結果、国内向けの医薬品売上高につきましては、対前年同期比7.5%減の1,697百万円となりました。また、海外向けにつきましては、対前年同期比37.9%減の508百万円となりました。

これらの結果、医薬品事業につきましては、対前年同期比16.9%減の2,206百万円の売上高となりました。また、セグメント利益につきましては、主に減収影響により、対前年同期比44.6%減の601百万円となりました。

・外部顧客への売上高の内訳(医薬品事業)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
国内	1,835	1,697
海外	819	508
合計	2,654	2,206

(感染管理事業)

感染管理事業につきましては、国内のインフルエンザ流行時期にあわせてWEBでの広告を強化する等、効果的なマーケティング費用の投下等コストコントロールに努め、収益性の改善に取り組んでまいりました。

これらの結果、売上高は前年同期とほぼ横ばいの203百万円となりました。また、セグメント損失につきましては、主に販売費及び一般管理費の減少影響等により、対前年同期比で44百万円改善し151百万円となりました。

・外部顧客への売上高の内訳(感染管理事業)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
国内:一般用	95	96
国内:業務用	92	85
海外	15	21
合計	203	203

(その他事業)

その他事業につきましては、主に木酢液を配合した入浴液や園芸用木酢液等の製造販売を行い、売上高は2百万円、セグメント損失につきましては7百万円となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①財政状態

当中間連結会計期間末における資産合計は11,680百万円(前連結会計年度末比1,234百万円減)となりました。また負債合計は3,731百万円(同1,218百万円減)、純資産合計は7,948百万円(同15百万円減)となりました。前連結会計年度末からの主な変動要因は、債権の回収に伴う受取手形及び売掛金の減少等による流動資産769百万円の減少や投資有価証券の売却等に伴う固定資産464百万円の減少、未払金や賞与引当金の減少等による流動負債564百万円の減少、長期借入金の返済等による固定負債653百万円の減少、また、その他有価証券評価差額金の減少等による純資産15百万円の減少等であります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間におけるキャッシュ・フローの状況につきましては、現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)が前連結会計年度末より392百万円減少し、当中間連結会計期間末残高は、4,139百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は61百万円(前年同期は256百万円の獲得)となりました。主に投資有価証券売却益347百万円、未払金の減少319百万円、棚卸資産の増加299百万円等の減少要因の一方で、税金等調整前中間純利益382百万円、売上債権の減少665百万円等の増加要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は295百万円(前年同期は135百万円の使用)となりました。主に有形固定資産の取得による支出148百万円等の減少要因の一方、投資有価証券の売却による収入447百万円等の増加要因によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は684百万円(前年同期は562百万円の使用)となりました。主に長期借入金の返済による支出673百万円等の減少要因によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の通期連結業績予想につきましては、2025年2月13日に公表いたしました予想値から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,532	4,139
受取手形及び売掛金	2,428	1,719
商品及び製品	452	610
仕掛品	652	800
原材料及び貯蔵品	571	564
その他	124	157
流動資産合計	8,761	7,992
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	953	912
機械装置及び運搬具(純額)	536	546
土地	1,675	1,675
建設仮勘定	11	7
その他(純額)	95	109
有形固定資産合計	3,271	3,251
無形固定資産	27	26
投資その他の資産		
投資有価証券	461	0
その他	391	409
投資その他の資産合計	852	409
固定資産合計	4,152	3,687
資産合計	12,914	11,680

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	338	347
1年内返済予定の長期借入金	1,206	1,206
未払金	716	341
未払法人税等	12	8
返金負債	69	67
賞与引当金	176	51
転貸損失引当金	11	11
移設撤去費用等引当金	88	68
その他	236	188
流動負債合計	2,855	2,290
固定負債		
長期借入金	792	119
長期末払金	549	549
転貸損失引当金	15	10
退職給付に係る負債	655	669
資産除去債務	20	20
その他	60	71
固定負債合計	2,094	1,440
負債合計	4,949	3,731
純資産の部		
株主資本		
資本金	10	10
資本剰余金	4,997	4,978
利益剰余金	2,526	2,806
自己株式	△273	△237
株主資本合計	7,260	7,557
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	234	—
為替換算調整勘定	468	391
その他の包括利益累計額合計	703	391
純資産合計	7,964	7,948
負債純資産合計	12,914	11,680

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
売上高	2,860	2,412
売上原価	1,181	1,091
売上総利益	1,678	1,320
販売費及び一般管理費	1,196	1,273
営業利益	482	46
営業外収益		
受取利息	15	7
為替差益	38	—
受取保険金	1	1
助成金収入	—	3
その他	8	0
営業外収益合計	63	12
営業外費用		
支払利息	4	3
賃貸費用	4	0
為替差損	—	30
支払手数料	6	1
その他	2	3
営業外費用合計	18	39
経常利益	528	20
特別利益		
投資有価証券売却益	—	347
受取補償金	200	14
特別利益合計	200	361
特別損失		
減損損失	—	0
投資有価証券評価損	4	—
特別損失合計	4	0
税金等調整前中間純利益	724	382
法人税、住民税及び事業税	27	10
法人税等調整額	△68	92
法人税等合計	△40	102
中間純利益	764	279
親会社株主に帰属する中間純利益	764	279

(中間連結包括利益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
中間純利益	764	279
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	378	△234
為替換算調整勘定	113	△77
その他の包括利益合計	492	△312
中間包括利益	1,257	△32
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,257	△32

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	724	382
減価償却費	128	125
減損損失	—	0
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△347
受取補償金	△200	△14
返金負債の増減額(△は減少)	△9	△2
賞与引当金の増減額(△は減少)	△26	△125
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△3	14
転貸損失引当金の増減額(△は減少)	△44	△5
移設撤去費用等引当金の増減額(△は減少)	—	△19
受取利息及び受取配当金	△15	△7
助成金収入	—	△3
受取保険金	△1	△1
支払利息	4	3
投資有価証券評価損益(△は益)	4	—
為替差損益(△は益)	△0	0
売上債権の増減額(△は増加)	191	665
棚卸資産の増減額(△は増加)	△233	△299
仕入債務の増減額(△は減少)	△25	52
未払費用の増減額(△は減少)	△121	△122
未払金の増減額(△は減少)	△363	△319
未払又は未収消費税等の増減額	△11	23
その他	57	56
小計	53	55
利息及び配当金の受取額	13	8
利息の支払額	△4	△3
補償金の受取額	200	14
助成金の受取額	—	3
保険金の受取額	1	1
法人税等の支払額	△7	△17
営業活動によるキャッシュ・フロー	256	61
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1	—
定期預金の払戻による収入	30	—
有形固定資産の取得による支出	△72	△148
有形固定資産の売却による収入	0	—
無形固定資産の取得による支出	△24	△2
投資有価証券の売却による収入	—	447
資産除去債務の履行による支出	△68	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△135	295
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△603	△673
リース債務の返済による支出	△14	△11
配当金の支払額	△1	—
新株予約権の行使による株式の発行による収入	59	—
その他	△2	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△562	△684
現金及び現金同等物に係る換算差額	113	△65
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△327	△392
現金及び現金同等物の期首残高	5,244	4,532
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,916	4,139

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

Ⅰ 前中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬品事業	感染管理事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	2,654	203	2	2,860	—	2,860
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,654	203	2	2,860	—	2,860
セグメント利益又はセグメ ント損失(△)	1,086	△195	△6	884	△401	482

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬品事業	感染管理事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	2,206	203	2	2,412	—	2,412
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,206	203	2	2,412	—	2,412
セグメント利益又はセグメ ント損失(△)	601	△151	△7	443	△396	46

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「感染管理事業」セグメントにおいて、回収可能性が認められないと判断した固定資産を減損損失として計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当中間連結会計期間において0百万円であります。

(表示方法の変更)

(中間連結損益計算書)

前中間連結会計期間において、「営業外収益」の「その他」に含めていた「受取保険金」は、金額的重要性が増したため、当中間連結会計期間より区分掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前中間連結会計期間の中間連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前中間連結会計期間の中間連結損益計算書において、「営業外収益」の「その他」に表示していた1百万円は、「受取保険金」1百万円として組替えております。

(中間連結キャッシュ・フロー計算書)

前中間連結会計期間において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めていた「受取保険金」及び「保険金の受取額」は、金額的重要性が増したため、当中間連結会計期間より区分掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前中間連結会計期間の中間連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前中間連結会計期間の中間連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「受取保険金」△1百万円及び「保険金の受取額」1百万円を独立掲記するとともに、「小計」55百万円は「小計」53百万円として組替えております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結範囲の重要な変更)

当中間連結会計期間において、大幸薬品インターナショナル株式会社は清算終了したため、連結の範囲から除外しております。